

2022年度 地域産学連携センター 活動報告

1. 産官学連携

1) 共同研究・受託研究・特定講座

産官学連携の仕組みとして、本学と企業等の研究者が共同で研究に取り組む「共同研究」、企業等から依頼された特定のテーマについて本学教員が研究する「受託研究」、本学の教員が企業等に出張し最新の知見を提供するとともに、個別具体的な専門的指導・助言などのコンサルティング業務や社員向け研修などを行う「特定講座」を実施。

1) -1 産学連携共同研究 計19件（新規契約12件、継続7件）

契約名称	担当教員
①在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する戸建て向けトイレの補助具の研究	(看護) 國澤尚子教授
②一般病院の看護業務における人為的過誤を未然に防ぐためのAIロボット応用に関する研究	(看護) 善生まり子教授
③訪問型サービスCにおける訪問・遠隔併用リハビリの実施方法と有効性に関する研究	(理学) 田口孝行教授
④CFRPインソールが歩行・走行に及ぼす影響に関する運動学的データの解析	(理学) 国分貴徳准教授
⑤科学的データに基づいた医療従事者用被服の開発	(理学) 国分貴徳准教授
⑥骨盤ベルトによる姿勢制御戦略への波及効果の妊娠中から産後に至るまでの継続的検証	(理学) 須永康代准教授
⑦踵骨ニュートラル誘導型足底挿板の有効性	(理学) 清水新悟助教
⑧液体クロマトグラフィーによるリポ蛋白分析に関する共同研究	(検査) 廣渡祐史教授
⑨地域包括ケア構築に向けた地域診断・分析（倉敷市）	(大学院) 川越雅弘教授
⑩足部中間位保持を目的としたインソールが膝関節に与える影響	(理学) 村田健児助教
⑪質の良い眠りを実現するための「睡眠休養感」を得られる寝具の条件とその開発	(検査) 有竹清夏准教授
⑫神経機能理学療法の技術開発研究～脳卒中片麻痺者の動作モニタリング・マーカー分析法開発と事例検討～	(理学) 山崎弘嗣教授

1) -2 受託研究 計8件（新規契約7件、継続1件）

契約名称	担当教員
①車輪付き運動機器を使用した運動の筋活動評価	(理学) 小栢進也准教授
②疾患罹患状況等に関する調査等一式	(行動) 大木いずみ教授
③認知症対応型AI/IoTシステム研究推進事業	(社福) 寫末憲子准教授
④フレイル予防事業業務委託契約（吉川市）	(理学) 田口孝行教授
⑤科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム（JST-RIInCA）	(行動) 谷邊哲史助教
⑥研究開発推進ネットワーク事業（「医学系研究の成果をわかりやすく発信する手引き」の普及と改善の提案）	(共通) 山田恵子准教授
⑦北本市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画策定業務	(大学院) 川越雅弘教授

1) -3 特定講座 計 14 件

相手方名称	講座名	担当教員
①武蔵野銀行	『笑顔はつらつ健康体操教室』の指導(計 4 講座)	(理学) 菊本東陽准教授
②ジャパンライム株式会社	「養護教諭の現場力向上セミナー2022」での講演	(共通) 上原美子教授
③公益財団法人いきいき埼玉	埼玉未来大学前期課程講師派遣 計 21 講座 埼玉未来大学後期課程講師派遣 計 19 講座 健康長寿プログラム、健康セミナー1 講座、オンライン講座 2 講座 (計 5 契約) 担当教員：(共通) 東宏行教授、森正樹准教授、八十島崇准教授、(看護) 林裕栄教授、江口のぞみ准教授、田中広美准教授 (理学) 田口孝行教授、井上和久教授、菊本東陽准教授、久保田章仁准教授、 (作業) 久保田富夫教授、(社福) 朝日雅也教授、河村ちひろ教授、小川孔美准教授、高島恭子准教授、 (健康) 北畠義典教授 (検査) 有竹清夏准教授、(口腔) 秋山恭子准教授	
④一般社団法人 医療・福祉・環境経営支援機構	睡眠を改善する介入プログラムの開発と効果の検証	(検査) 有竹清夏准教授
	あなたの知らない”お薬”の世界～有害事象を避けるために	(共通) 田中健一教授
	PHR を用いたロコモ・フレイル予防	(共通) 山田恵子准教授
⑤吉川市	ゲートキーパー養成研修	(看護) 森田牧子准教授、(看護) 小川千恵子助教

2) 学内向け産学連携共同研究促進企画

本学教員と産業界との連携を促進するためのセミナー等を実施。

- (1) (新) 第 1 回 学内向け産学連携促進研修会 (9 月)：埼玉県産業振興公社との共同企画 (参加者：26 名)
 - ・テーマ：企業への研究プレゼンテーションの方法
- (2) (新) 第 2 回 学内向け産学連携促進研修会 (1 月)：国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) の協力 (参加者：20 名)
 - ・テーマ：JST の産学連携支援事業における大学等研究機関への支援 (助成制度)
- (3) 「大学・研究機関シーズマッチング会 in 埼玉県立大学」(主催：埼玉県産業振興公社) への参加 (12 月：オンデマンド)
 - ・登録閲覧者：56 件
 - ・終了後、3 名の教員に 4 社からの共同研究相談

※研究プレゼンテーションの掲載に当たり、埼玉県産業振興公社より個別アドバイスの協力を得た。

研究プレゼンテーション (講演名)	研究プレゼンテーション教員
①PHR(Personal Health Record)を用いたロコモ・フレイル予防	(共通) 山田恵子准教授
②地域でケアを担う職種の人材育成とそれに伴うサービス提供の提案	(看護) 林裕栄教授
③膝関節疾患の発症と運動療法の効果検証	(理学) 金村尚彦教授
④高齢者の動きの巧みさを生み出す体操と計測技術	(理学) 小栢進也准教授
⑤呼吸筋と胸の動きに着目した評価・トレーニング支援機器開発 (肺機能単体を超越する呼吸機能の改善)	(理学) 木戸聡史准教授

⑥障害予防のための新コンセプトによる靴の中敷き（インソール）の開発	(理学) 清水新悟助教
⑦昼間の活動と夜間睡眠の関係-子どもから高齢者の睡眠と健康を考える-	(作業) 久保田富夫教授
⑧デジタルトランスフォーメーション時代における高齢者への支援プログラム開発	(社福) 小川孔美准教授
⑨電子顕微鏡を用いた細胞診検査法の開発	(検査) 矢野哲也准教授
⑩超高齢社会に対応する歯ブラシのデザインと口腔機能向上エクササイズアプリ開発 ～積極的な口腔保健行動啓発戦略～	(口腔) 久保田チエコ助教

3) 産学連携イベントへの参加

展示会等イベントへの出展により研究成果を積極的に発信。

①第3回産学連携技術シーズ発表会【生命工学分野】(9月) 主催：公益財団法人 埼玉県産業振興公社

発表：(理学)清水新悟助教「傷害予防に必要な材料特性による靴開発」 ※終了後、1社と面談実施

②彩の国ビジネスアリーナへの出展(2月)

出展：久保田圭祐特任助教：「リハビリテーション支援ロボットの開発 ～筋電駆動型上肢リーチングロボットの開発～」

本学ブース来場者数：72名(名刺交換枚数：56枚) ※オンライン展示動画閲覧数：計17件

※イベント来場者数：12,685名

※終了後、2社との面談実施

4) 研究・地域活動シーズ作成

・(改)『研究・地域活動シーズ2022-2023』の発行：

広く広報し、会社・企業・病院・施設・教育機関・他大学等への配布、ホームページへの掲載。

掲載教員126名(144テーマ)、170ページ

※これまでの「研究シーズ」に加え、2022年度より教員の地域活動に関する情報を掲載し、「研究・地域活動シーズ」として発行。

地域からの委員・講師依頼にも役立てられるようにした。

5) 知的財産(意匠出願)

・(共通)高柳雅朗准教授：『上部消化管学習教材』、『骨盤学習教材』、『脳学習教材』

2. オープンカレッジ（公開講座）

従来的一般公開講座、専門職講座を含む全ての講座を「オープンカレッジ講座」として整理・統合。

本学の保健医療福祉分野の専門性を活かし、健康づくりに役立つ一般向け講座、保健医療福祉分野に従事する方を対象としたキャリアアップや知識・技術向上のための研修、卒業生のための講習等を実施。一般・専門職・小中学生・卒業生向け、及び専門職連携講座で97回実施。

※2022年度は前年度に引き続き、オンライン、対面双方のメリットを活かしながら実施。 ※講座企画は随時受け付け。

1) 一般・専門職・小中高生・卒業生対象 85回

実施日	講座名	担当教員
4月20日(水)～ ※年9回	模擬患者とはなにか？(継続編)～よい医療者育成に必要な力となる～	(理学)久保田章仁准教授、(看護)田中広美准教授、
6月15日(水)～ ※年7回	模擬患者とはなにか？(入門編)～よい医療者育成に必要な力となる～	青森広美准教授、山田牧子助教
5月28日(土)	健康のために取り組む生活習慣病の対策	(理学)井上和久准教授
5月7日(土)～ ※年4回	埼玉県精神看護・精神地域ケア事例検討会	(看護)林裕栄教授
随時受付	出張！子どもの発達サポート相談～作業療法士による～	(作業)川俣実教授
①6月4日(土)、②8月6日(土)	損なわれた関係や傷を癒し直すための修復的対話の会 体験会	(社福)梅崎薫教授
6月25日(土)	卒業生支援講座「障害者就労支援」	(社福)朝日雅也教授、富田文子助教
6月27日(月)～ ※年4回	臨床家のための看護研究セミナー	(看護)兼宗美幸教授
7月9日(土)	社会福祉士実習指導者講習会 担当教員：(社福)佃志津子准教授、小川孔美准教授、大岡華子准教授、岡桃子准教授、寫末憲子准教授、保科寧子准教授、富田文子助教	
7月14日(木)	膝の痛みと運動	(理学)小栢進也准教授
①7月22日(金) ②7月25日(月)	生命科学体験講座～いのちを体験しよう～ ①血液1滴からわかること ②魚の顕微鏡標本を作ろう	(検査)安藤克己准教授、矢野哲也准教授、井原寛子准教授
①7月28日(水)、8月10日(水) ②8月4日(木)、8月23日(火)	3Dプリンタを使ってみよう ①小学生向け ②中学生向け	(作業)小池祐土助教、久保田富夫教授、押野修司准教授
8月9日(火)	身近なものからDNAを取り出そう！	(検査)白土佳子准教授
8月9日(火)～ ※年15回	臨床実習受け入れ施設対象講習会 担当教員：(理学)今北英高教授、国分貴徳准教授、久保田章仁准教授、木戸聡史准教授、中村高仁助教、西原賢教授、金村尚彦教授、須永康代准教授、清水新悟助教、井上和久准教授、菊本東陽准教授、田口孝行教授、山崎弘嗣教授、村田健児助教、小栢進也准教授	
①9月13日(火)、②2月28日(火)	肩こりの解消：肩甲骨はがしの実践	(理学)村田健児助教
①9月20日(火)、②3月7日(火)	肩の検診～自分の体を知ることからはじめる障害予防～	(理学)村田健児助教
7月30日(土)～ ※年4回	養護実践事例検討会	(共通)上原美子教授
9月7日(水)	新カリキュラム社会福祉士実習準備講座 ～円滑な実習の受け入れに向けて～	(社福)大岡華子准教授

①10月22日(土)、②11月19日(土) ③12月17日(土)	市販薬と健康食品の知識を学ぶ	(検査)久保田亮准教授
10月29日(土)	子ども劇場	(子ども)伊藤知子准教授
①10月29日(土) ②10月30日(日)	お口から始めよう！健康づくり講座 担当教員：(口腔)秋山恭子准教授、吉田隆教授、植野正之教授、佐藤玲子准教授、柳澤伸彰准教授、新井恵准教授、江良裕子助教、久保田チエコ助教	
①10月28日(金) ②11月11日(金)	現場で使える3Dプリンタの活用法 ①卒業生向け ②専門職向け	(作業)小池祐士助教、久保田富夫教授、押野修司准教授
11月10日(木)	(特別講演)「中国における感染症の状況と制御対策」	(健康)若林チヒロ教授 (本学 客員教授・現 北京大学) 王培玉教授
11月26日(土)	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク ～私たちは何を体験したか？～ ※埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第13回大会と共催	(看護)秋山美紀教授、林裕栄教授、森田牧子准教授、江口のぞみ准教授、小川千恵子助教、(共通)金野倫子教授
2月18日(土)	「カンファレンスをより良くするスキルトレーニング」	(大学院)飯岡由紀子教授、(看護)大場良子准教授
2月23日(木・祝)	産科スタッフのための「やさしい日本語」研修会	(看護)齋藤恵子准教授
3月4日(土)	ソーシャルワーカーのためのアセスメント講座 ～理論と視座・実践への活用～「家族支援の理論と技法」	(福祉)佃志津子准教授
3月4日(土)	認定看護師教育課程フォローアップ研修	(看護)大場良子准教授
3月5日(日)	知的障がい者サッカー体験会	(作業)押野修司准教授、小池祐士助教
3月25日(土)	その人らしさを支えるアピランス支援 ～がんサバイバーが求める支援を一緒に考えてみませんか？～	(看護)大場良子准教授

2) 専門職連携講座 12回

地域包括ケアシステム等により専門職連携の必要性が強く認識され専門研修へのニーズが高まってきたことを受け、2014年度から実施。

① (新) ファシリテータ研修 (全3回、6月～7月) 参加者数 30名

多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎の習得を目指し、講義と演習を含む全3回の研修会として開催。

担当：(社福)小川孔美准教授、(看護)國澤尚子教授

② IPW 総合課程 (全8回) 参加者数 14名

IPWを推進するリーダーの育成を目的とした体系的で実践的な講座。IPWに関する基本理論や最近の動向、施設や地域でのファシリテータとしての方法論や技術、様々な具体的状況下におけるIPWの実際など、今、現場で本当に必要な連携について学ぶ全8回の講座として実施。

回(日程)	講座名	講師
第1回 8月27日(土)	IPW 総合課程全体オリエンテーション・学長開講挨拶	星文彦学長、(看護)善生まり子教授
	(講)IPW 総論①「IPW/IPE とは？」	(理学)田口孝行教授
	(演)IPW の基礎①「参加者を知る(自己紹介)」	(看護)國澤尚子教授
	(演)オンライン IPW 実施ツール①・google jamboard の使用方法	
	(講・演)IPW 各論①「IPW におけるチーム形成とチーム活動」	(看護)丸山 優准教授
第2回 9月3日(土)	(演)リフレクション①「第1回の振り返り」	(理学)田口孝行教授、(看護)善生まり子教授
	(講)IPW の基礎②「IPW の基本原則とヒューマンケア」	(社福)朝日雅也教授
	(講・演)IPW 各論②「IPW におけるリフレクションの意義」	(看護)鈴木康美教授
	(講・演)IPW の基礎③「コミュニケーションと自己理解」	(看護)江口のぞみ准教授
	(講)IPW トピック講座①「ケアラー支援における地域連携」	(看護)林 裕栄教授
第3回 9月17日(土)	(演)リフレクション②「第2回の振り返り」	(看護)國澤尚子教授
	(講)IPW 評価(人材育成)①「IPE の現状・成果・課題」	(看護)善生まり子教授
	(講・演)IPW 各論③「IPW を促進する記録方法(F-SOAIIP)」	(社福)寫末憲子准教授
	(講)IPW 実践の検討①「オリエンテーション」「アイスブレイク」	(理学)井上和久准教授・久保田章仁准教授、(社福)木下聖准教授・寫末憲子准教授、(看護)善生まり子教授、(検査)岡田茂治准教授
	(演)オンライン IPW 実施ツール②・google スライドの使用方法	
第4回 10月8日(土)	(講)IPW 実習①「オリエンテーション」	(理学)田口孝行教授
	(演)リフレクション③「第3回の振り返り」	(理学)田口孝行教授
	IPW 各論④「IPW に必要なファシリテーションスキル」	(社福)小川孔美准教授
	IPW 総論②「保健医療福祉職に求められる IPW」	(研究科)川越雅弘教授
	IPW 実践の検討②「連携における課題の明確化」「検討課題の決定」「課題解決策の検討」「プレゼン資料作成」	(理学)井上和久准教授・久保田章仁准教授、(社福)木下聖准教授・寫末憲子准教授、(看護)善生まり子教授、(検査)岡田茂治准教授
第5回 10月22日(土)	IPW 実践の検討③「事例発表：最終ディスカッション」「事例発表」	(理学)井上和久准教授・久保田章仁准教授、(社福)木下聖准教授・寫末憲子准教授、(看護)善生まり子教授、(検査)岡田茂治准教授
	IPW 実践の検討④「リフレクション」	
	IPW トピック講座②「家族介護者支援の哲学：英国の法整備とアジア諸国との共通点」	(作業)中村裕美教授
	IPW トピック講座③「地域共生社会づくりと IPW の取り組み」	(社福)木下聖准教授
	IPW トピック講座④「精神障害・障害分野の IPW」	(作業)柴田貴美子准教授
第6回 11月5日(土)	IPW 実習② 1)介護老人保健施設ビッラ・ベッキア、2)特別養護老人ホーム杏樹苑 爽風館 ※施設とオンラインで接続	(理学)田口孝行教授、(看護)國澤尚子教授、 (作業)柴田貴美子准教授・上原栄一郎准教授、 (口腔)佐藤玲子准教授、(社福)小川孔美准教授
第7回 11月19日(土)	IPW 総論③「2040年に向けた地域包括ケアシステムの進展」	田中滋理事長
	IPW トピック講座⑤「IPW と子ども支援」	(共通)上原美子教授
	IPW 評価(人材育成)②「IPW コンピテンシーと自己評価」	(看護)國澤尚子教授
	IPW 実習③「実習まとめ(グループワーク)」	(理学)田口孝行教授、(看護)國澤尚子教授、 (作業)柴田貴美子准教授・上原栄一郎准教授、

		(口腔)佐藤玲子准教授、(社福)小川孔美准教授
	IPW 各論⑤「IPWの展望」	(社福)朝日雅也教授
第8回 12月10日(土)	IPW 実習④「チームディスカッション：発表準備」	(理学)田口孝行教授、(看護)國澤尚子教授、
	IPW 実習⑤「IPW 実習報告会：ディスカッション」	(作業)柴田貴美子准教授・上原栄一郎准教授、
	IPW 実習⑥「実習リフレクション」	(口腔)佐藤玲子准教授、(社福)小川孔美准教授
	リフレクション④「IPW 総合課程全体を通しての振り返り」	(理学)田口孝行教授
	修了式「履修証明書授与・学長あいさつ」	星文彦学長、(看護)善生まり子教授

③多職種連携基礎研修(2月) 参加者数18名

医療や福祉の現場で必要となる専門職種の垣根を越えて実施される多職種連携のためのチームワークの基礎を学ぶ半日間の講座として実施。

担当：(理学)井上和久准教授、(看護)會田みゆき准教授・善生まり子教授・山本英子准教授、(作業)上原栄一郎准教授、(口腔)佐藤玲子准教授

3) WEB講座 (年間2,015アクセス)

地域住民に役立つ保健医療福祉に関するコラムを本学ホームページ上で年3回掲載。

テーマ	タイトル	担当教員
①肩・腰・膝の痛み (6月：理学療法学科担当)	肩の痛み「そのうち治るは本当か？」	(理学)村田健児助教
	腰痛予防のヘルスリテラシーを高めよう	(理学)高崎博司准教授
	膝の痛みはどうすればよい？	(理学)小栢進也准教授
②ストレス社会を生きる知恵 (10月：共通教育科担当)	ストレス対処法としてのセルフメディケーションについて	(共通)田中健一教授
	ストレス社会での運動の意味～元気の貯蓄～	(理学)山崎弘嗣教授
	ストレスの測定とうつ病の診断	(共通)竹島太郎教授
③健康寿命を伸ばすには (2月：看護学科担当)	人生の先輩から頂いたちょっとした幸せのヒント	(看護)秋山美紀教授
	健康寿命とロコモ	(共通)山田恵子准教授
	健康寿命を伸ばすには	(口腔)戸田花奈子助教

4. 地域との連携活動

1) 出張講座（高校・中学校） 計 48 校

大学での授業の雰囲気や専門的な分野の内容を体験できるよう、大学講義のエッセンスを教員が高校や中学校に出張してわかりやすく講義。進路指導の一環としての講座、専門的な分野の講座、保健指導等の講座など多様な講座を実施。

※県外高校については原則としてオンラインで対応。

実施日	学校名	担当教員	実施日	学校名	担当教員
6月10日	埼玉 私立昌平高等学校	(看護)小川千恵子助教	6月15日	埼玉 私立武南高等学校	(看護)鈴木玲子教授
6月22日	東京 都立江北高等学校	(社福)佃志津子准教授	7月8日	埼玉 県立川越南高等学校	(看護)吉村基宜助教
7月11日	埼玉 県立松伏高等学校	(看護)斎藤恵子准教授	9月16日	埼玉 私立第一学院高等学校 川越校	(看護)金さやか助教
9月16日	茨城 県立古河第三高等学校	(看護)高橋綾准教授	9月21日	東京 都立雪谷高等学校	(看護)宮部明美助教
9月21日	東京 都立上野高等学校	(看護)添田啓子教授	10月7日	埼玉 県立本庄高等学校	(共通)滑川道人教授
11月9日	群馬 県立前橋東高等学校	(検査)有竹清夏准教授	10月13日	埼玉 県立松山高等学校	(作業)石岡俊之准教授
11月10日	埼玉 県立幸手桜高等学校	(看護)斎藤恵子准教授	10月20日	栃木 県立足利高等学校	(看護)渋谷えり子准教授
11月10日	埼玉 県立岩槻高等学校	(看護)辻玲子准教授	10月21日	東京 都立墨田川高等学校	(理学)国分貴徳准教授
11月11日	埼玉 県立特別支援学校坂戸ろう学園	(看護)斎藤恵子准教授	10月24日	埼玉 県立朝霞高等学校	(看護)兼宗美幸教授
11月11日	茨城 県立下妻第一高等学校	(理学)国分貴徳准教授	10月24日	静岡 県立三島北高等学校	(理学)国分貴徳准教授
11月16日	埼玉 国立筑波大学附属坂戸高等学校	(社福)朝日雅也教授	10月25日	埼玉 県立羽生第一高等学校	(理学)井上和久准教授
11月16日	東京 私立東洋高等学校	(看護)常盤文枝教授	10月26日	埼玉 県立浦和北高校	(看護)渋谷えり子准教授
11月16日	埼玉 県立本庄高等学校	(看護)山岸直子准教授	10月26日	埼玉 県立川口北高等学校	(看護)宮部明美助教
11月17日	埼玉 県立春日部東高等学校	(看護)會田みゆき准教授	10月27日	埼玉 県立大宮南高等学校	(理学)西原賢教授
11月24日	埼玉 市立浦和南高等学校	(看護)平野裕子准教授	10月27日	栃木 県立栃木女子高等学校	(理学)国分貴徳准教授
11月28日	埼玉 県立草加高等学校	(看護)平野裕子准教授	10月28日	埼玉 県立浦和西高等学校	(看護)畔上光代准教授
12月16日	長野 県立木曾青峰高等学校	(検査)井原寛子准教授	11月1日	群馬 県立沼田高等学校	(理学)井上和久准教授
12月20日	埼玉 県立常盤高等学校	(口腔)柳澤伸彰准教授	11月1日	栃木 県立さくら清修高等学校	(看護)金さやか助教
12月21日	埼玉 県立浦和第一女子高等学校	(看護)鈴木幸子教授	11月8日	群馬 県立館林女子高等学校	(看護)浅井宏美准教授
12月21日	埼玉 県立大宮工業高等学校	(共通)田中健一教授	11月8日	群馬 県立太田東高等学校	(健康)延原弘章教授
12月22日	埼玉 県立白岡高等学校	(看護)斎藤恵子准教授	1月17日	東京 私立錦城高等学校	(共通)飯島博之教授
3月14日	埼玉 県立武蔵生越高等学校	(看護)辻本健助教	2月1日	埼玉 春日部市立緑中学校 担当教員：(看護)浅井宏美准教授・東原亜希子准教授・堀口香織助手	
3月15日	埼玉 県立宮代高等学校	(看護)田中広美准教授	2月3日	埼玉 県立熊谷女子高等学校	(看護)柴田由里子助教
3月20日	埼玉 県立鴻巣高等学校	(看護)斎藤恵子准教授	2月16日	埼玉 県立春日部高等学校	(理学)村田健児助教

2) 開放授業 計 7 授業 参加者数 28 名

地域貢献と進路促進を目的に、近隣 10 高校と協定を締結し、本学 5 限の授業を高校生に開放。

また、埼玉県福祉部の事業として、県内在住の 55 歳以上の方を対象とした大学の開放授業講座を実施。

事業名	開講時期	開放授業名	担当教員
①高校生向け開放授業	前期	教育学①	(共通)東宏行教授
②高校生向け開放授業		臨床検査概論	(検査)安藤克己准教授
③開放授業(埼玉県福祉部)		社会保障概論	(社福)伊藤善典教授
④高校生向け開放授業	後期	哲学	(共通)高村夏輝准教授
⑤高校生向け開放授業		社会福祉の原理と政策 I	(社福)相良翔准教授
⑥高校生向け開放授業		老年看護学 I	(看護)辻玲子准教授
⑦開放授業(埼玉県福祉部)		ソーシャルワークの理論と方法 I	(社福)保科寧子准教授

3) 越谷市・春日部市・吉川市との包括協定に基づく連携事業

(1) 越谷市

- ① (新) 包括協定に基づく連携会議 (1 回)
- ② 「越谷市シルバーカレッジ」への協力
 - ・9月7日(水):「手の不思議」(作業)鈴木貴子准教授
 - ・9月21日(水):「生活習慣と健康-食生活と身体活動-」(看護)會田みゆき准教授
- ③ (新) 認知症サポーター研修会(地域共生部地域包括ケア課):本学1年生(約400名)対象に実施
- ④ (新) 自殺対策ゲートキーパー研修会(保健医療部保健総務課):本学参加教職員50名
- ⑤ 「子ども大学こしがや・まつぶし」への協力 ※越谷市、松伏町ホームページ掲載
 - ・10月22日(土):「ジャンプ力を知ろう!測ろう!!」(共通)八十島崇准教授
 - ・11月26日(土):「聴診器をつかってみましょう」(看護)渋谷えり子准教授
- ⑥ 「越谷市学生議会」への協力:学生(看護学科・健康行動科学専攻)8名の参加 ※越谷市議会のホームページ掲載
- ⑦ 「越谷市長と学生との懇談会」への協力:学生(看護学科・健康行動科学専攻・社会福祉学専攻・大学院)12名の参加 ※埼玉新聞に掲載
- ⑧ 学校ボランティアの派遣(養護教諭課程の学生を授業科目の一環として)

(2) 春日部市

- ① 「埼玉県立大学春日部市民講座」への協力

- ・7月24日(日)：「コロナ禍で自粛中、座りがちな行動にご注意ください」(理学)久保田章仁准教授
- ・7月31日(日)：「コロナ禍でのオーラルフレイル」(口腔)秋山恭子准教授

② 学校ボランティアの派遣(養護教諭課程の学生を授業科目の一環として)

(3) 吉川市

① 包括協定に基づく連携会議(1回)

② 市内の発達障害に関する巡回支援員の協力：(作業)押野修司准教授

③ 自殺防止対策計画の策定に当たりアンケート調査・分析の協力：(看護)森田牧子准教授、小川千恵子助教

(4) (新) 包括協定締結3自治体および埼玉県との共同事業助成金申請(12月)：不採択

・「高齢社会課題解決研究および社会実装活動への助成」(公益財団法人長寿科学振興財団)：5,000万円

申請課題：日本の高齢者のデジタルリテラシーを向上させるエコシステム開発と実装

申請者：(社福)小川孔美准教授、(理学)田口孝行教授、(健康)北畠義典教授、(看護)高橋恵子教授、(作業)柴田貴美子准教授

※ 2021年度教育・研究・地域活動一体型事業研究の実績(小川孔美准教授)を基にし、包括協定締結3自治体との連携も必要であったことから、地域産学連携センターがバックアップして応募。

4) 埼玉県との連携事業

(1) リアル体験教室

小学4～6年生を対象に、子供たちの将来の夢の発見、実現の支援を目的とした職業体験教室「リアル体験教室」を実施。

9月11日(日)：『「看護師になりたい」－見えない微生物から患者さんや自分を守ろう－』

(看護)高橋綾准教授 青森広美准教授、吉村基宜助教

(2) 埼玉県福祉部障害者福祉推進課の事業への協力(2月)

① 「手話カフェ」(手話普及リレーキャンペーンの一環)：(社福)朝日雅也教授 本学手話サークル「ビー玉」が参加

② 蕨市立西小学校の校歌の歌詞に本学の学生が手話をあて提供。

5) 情報発信 計6件

媒体名	テーマ等	担当教員
①広報こしがや「健康情報コラム」4月号	コロナ禍で増加！？帯状ほう疹にご注意を	(共通)滑川道人教授
②ひるどき！さいたまーず (NHK ラジオ) 5月25日	「こころの健康」	(看護)秋山美紀 教授
③広報こしがや「健康情報コラム」8月号	運動は万能薬？	(理学)今北英高教授
④千間台西連合自治会広報「くすのき」2022年9月1日号	山なし街で山歩き	(共通)浅川泰宏准教授
⑤ひるどき！さいたまーず (NHK ラジオ) 10月19日(水)	目の健康	(看護)金 さやか助教
⑥広報こしがや「健康コラム」2023年1月号	眠りについて	(作業)久保田富夫教授

6) 千間台西地区との連携事業（地域に根差した大学事業）

- (1) 千間台西連合自治会との意見交換会：計6回：(健康)北畠義典教授、(福祉)小川孔美准教授、(理学)中村高仁助教
 ・健康や防災、コミュニティづくり等、多様な地域課題について意見交換

- (2) 地域が望む「ふらっと立ち寄れる居場所づくり」「学生と住民が協力した街づくり」を目標に住民と大学が共同で事業実施

実施日	実施内容	実施会場	担当教員
4月12日(火)	体力測定会	リアせんげん台	(理学)中村高仁助教
5月15日(日)	健康相談会	イオン薬局	(社福)小川孔美准教授
6月19日(日)	スマホ相談会	千間台記念会館	
6月20日(月)	スマホサロン	本学エントランス	
7月16日(土)、8月20日(土)、9月17日(土)	スマホ相談会	千間台記念会館	(社福)小川孔美准教授
8月23日(火)～8月25日(木)	夏休み子ども学習室	埼玉県立大学	ボランティア学生および地域産学連携センター
8月29日(月)～9月2日(金)	脚の健康チェック	埼玉県立大学	(理学)小栢進也准教授 山崎弘嗣教授 木戸聡史准教授
10月22日(土)、11月19日(土)	スマホ相談会	千間台記念会館	(社福)小川孔美准教授
1月16日(月)、2月16日(木)、3月18日(土)	スマホサロン	本学 学内	(社福)小川孔美准教授 ※サークルやどり木 SPU binders と共に実施。

- (3) 千間台西連合自治会広報「くすのき」への寄稿協力

- ・(社福)小川孔美准教授：「コロナ禍のコミュニケーション」(6月1日号)
- ・(共通)浅川泰宏准教授：「山なし街で山歩き」(9月1日号)

7) 各種イベントへの参加（学生）

- (1) 開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉：12月6日(火) ※主催：一般社団法人さいしんコラボ産学官
- ①作業療法学科3年生4名：(顧問：臼倉京子教授) うすくらしすたーず：「一緒に夏バテ対策!! 「ぎゅーっとくーちゃん」」
 - ②作業療法学科3年生3名：(顧問：南雲浩隆准教授) ショコラパフェ：「埼玉を味わうカラフルスイーツ」
 - ③検査技術科学専攻3年生4名：(顧問：大木いずみ教授) チームいずみ：「安全ルート案内アプリ」
- ★受賞：うすくらしすたーず（優秀賞）／ショコラパフェ（審査委員特別賞）／チームいずみ（奨励賞）
- (2) 学生政策提案フォーラム in さいたま：11月20日(日) ※主催：大学コンソーシアムさいたま、さいたま市
- ①作業療法学科3年生4名（顧問：川俣実教授）：「教育現場への作業療法士の参加」
 - ②作業療法学科3年生5名（顧問：久保田富夫教授）：「さいたまハンバーグを用いたさいたま市の活性化」
- (3) かすかべビジネスプランコンテスト：11月14日(月)
- ※主催：春日部市、ふれあいキューブ創業支援ルーム、春日部商工会議所、庄和商工会
- ①作業療法学科3年生5名（顧問：押野修司准教授、鈴木貴子准教授）：「空き店舗活用！いいところづくしの春日部ふれあいパーク」
- ★受賞：春日部商工会議所賞

8) 講師・委員の派遣（教員） 自治体等への講師派遣を343件、審議会等への教員派遣を222件

5. 地域活動に関する学内周知・学外広報

- (1) (新)『地域産学連携センターだより』の発行 計5回
- ①創刊号(7月)、②第2号(10月)、③第3号(12月)、④第4号(1月)、⑤第5号(2月)
- (2) 後援会との意見交換会、埼玉大学との懇談会において『地域産学連携センターだより』を紹介(2月、3月)

【参考】**共同研究（継続案件 7 件（複数年契約））**

契約名称	担当教員
腰痛患者に対する姿勢矯正補助具の効果	(作業) 小池祐士助教
障害者のための新たな衣服開発	(作業) 小池祐士助教
健康経営の枠組みによる健康課題の見える化に関する研究	(行動) 津野陽子准教授
乳児の月例による睡眠と Motor milestones に関する観察研究	(検査) 有竹清夏准教授
自閉スペクトラム症の子どもと保護者に対するタブレット版ロールプレイテストの開発	(作業) 柴田貴美子准教授
脳卒中片麻痺患者における空気圧人工筋による短下肢装具を用いたリハビリテーション効果に関する研究	(理学) 小栢進也准教授
Deep learning を用いた舌癌エコー術後頸部リンパ節転移予測システムの開発	(検査) 岡田茂治准教授

受託研究（継続案件 1 件（複数年契約））

契約名称	担当教員
横アーチを補助するサポーター着用による動作中の足圧変化	(理学) 小栢進也准教授